

巻頭言 Prologue

デジタルハリウッド大学の研究紀要『DHU JOURNAL Vol.11 2024』の刊行をお知らせいたします。本研究紀要は、デジタルコンテンツ領域をはじめとする多様な学術的課題に対して、理論と実践を橋渡しする高度な研究活動を発表する場として創刊され、今年で11年目を迎えました。今年度より、編集幹事の役割を木原民雄教授から引き継ぎ、研究紀要の編集および刊行作業を編集チームと共に進めてまいりました。編集方針や工程に大きな変更はありませんが、伝統を踏襲しつつも新たな視点を取り入れた編集にも力を入れてきました。

デジタルハリウッドは本年度で創立30周年を迎えます。節目にあたるVol.11の原稿募集では、これまでの研究や教育活動の成果を総括する内容に加え、学術界ではまだ広く受け入れられていない萌芽的な課題や研究領域に挑戦する「未来への挑戦」の二つのテーマを掲げ、多くの投稿をいただきました。本学の教員、関係者、修了生、現役の大学院生をはじめ、昨年度を大幅に上回る多様な寄稿が集まったことを大変嬉しく思います。また、創立30周年を記念する特集として、学長による寄稿を含む3本の特別寄稿を掲載しています。さらに、本学での研究を象徴する論文や研究ノートに加え、本学の教育と研究の軌跡を振り返る報告も数多く収録することができました。

デジタルハリウッド大学の研究紀要は、デジタルコンテンツや関係する領域での研究成果や実践を、一定の基準を満たした形式と内容で発表し、共鳴する場を提供する役割を今後も果たしてまいります。本研究紀要をご覧の皆様には、ぜひとも本学関係者、共同研究者、協力支援者として次号へのご寄稿を検討いただき、今後も本学の研究活動へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「いまから世界を幸せにするひとをここで待っている」のメッセージとともに。

編集幹事 Chief Editor

山崎 敦子 YAMAZAKI Atsuko

Digital Hollywood University, Graduate School, Specially Appointed Professor